

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 新型コロナウイルス感染症検査キット配送事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 検査対策係 電話番号：058-272-1111(内3348)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 338,007 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	338,007	108,596	0	0	0	0	28,458	0	200,953
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

第7波において各地で医療ひっ迫が相次ぐ中、重症化リスクの低い有症状者等に対し、抗原定性検査キットを配布し検査キットの入手から医師による確定診断までを、自宅にしながらオンラインで完結することができる「岐阜県陽性者登録センター」が令和4年8月に設置された。

同年9月26日からは、全国一律で感染症法に基づく医師の届出(発生届)の対象が65歳以上の方などに限定されたことから、発生届の対象とならない方の療養をサポートする「岐阜県陽性者健康フォローアップセンター」が設置された。

この見直しにより、従来の陽性者登録センター機能はフォローアップセンターの一部になったが、他の機能とは財源が異なることから、従来の登録センターの自己診断用検査キットの購入及び配送に係る部分(お盆期間など連休中に開設した医療機関への配布用検査キット購入費用及び配送等費用を含む。)について、予算要求を行うものである。

(2) 事業内容

検査キットの保管・配送経費

検査キットの購入

(3) 県負担・補助率の考え方

【保管・配送】 県 10 / 10 (岐阜市負担あり)

【購入・配送】 国 1 / 2 県 1 / 2 (感染症予防事業費等国庫負担金、岐阜市負担あり)

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
光熱水費	1,080	保管にかかるガス空調費
消耗品費	182,160	抗原定性検査キット購入費
委託料	154,767	抗原定性検査キット梱包・配送等経費
合計	338,007	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

オミクロン株の特徴に合わせた医療機関や保健所の更なる負担軽減への対応として「発熱外来自己検査体制」において健康フォローアップセンター等の開設が極めて重要であり、その内容も地域の実情に応じた適切なものとする必要があると令和4年8月4日新型コロナウイルス感染症対策本部において決定された。

(2) 国・他県の状況

外来を経ない医師を配置する健康フォローアップセンター等を設置し、自ら検査した結果の登録により療養を開始する仕組みをすべての都道府県において導入することを国から要請されている。

(3) 後年度の財政負担

今後の感染者数の推移及び医療機関のひっ迫状況により継続の必要を判断。

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜市と連携し事業を実施。

県内の医療提供体制支援のために行う事業であり、都道府県や保健所設置市での対応が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
各地で相次いでいるコロナ医療及び一般医療のひっ迫の回避。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

感染者の増加を見通すことはできず、具体的な数値目標を設定することはできない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	発生届の対象外となる65歳未満の重症化リスクの低い方についても安心して療養が可能となる体制が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	陽性者登録センターとして稼働したの令和4年8月12日から9月25日まで間において、検査キットは約12,000個、確定診断は約3,000件実施しており、医療機関のひっ迫対策に一定の成果が上がっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	事務局設置・運営、キット配送、コールセンター業務等、一連の業務を専門業者に委託し、効果的かつ効率的に事業を実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後の感染者数の推移及び医療機関のひっ迫状況を注視していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】